

テーマ

みんな笑顔で育ち合おう ～心にひびく伝え方～

内容 《リーダーとしての取り組み、地域での取り組みの振り返り、年間のまとめ》

◎リーダーとしての取り組み

【成果】

- ・リーダーとしての役割や知識の学びが深まった
- ・実践シートを活用したり、親育ち支援研修の内容を自園で話し合いすることで職員間での共通認識につながった

【課題】

- ・実践シートの活用が親育ち支援担当だけになっていることも多く、園全体での活用が難しい
- ・話し合う場を作るのが難しい
- ・5つの資質・能力の理解が不十分だったり、話し合いの場で言葉を引き出すのが難しかったりと、自分のスキルがまだ足りない

⇒話し合いの場を作るには、ココと決めて予定に組みこむ
園内で親育ち支援担当者であることをアピールし、「困ったことは相談してね」と保育者に伝えておく



◎地域での取り組み

【成果】

- ・交流会への呼びかけがたくさんできた
- ・行政への発信ができた、親育ち支援の内容を伝えるだけでも行政とつながる
- ・市町村で研修をすることで、他園や親育ち支援担当者につながることで研修内容が充実した

【課題】

- ・市町村によっては、実践シートの活用が難しい所がある
- ・園内での共有には時間の確保が必要であり、園全体や行政を巻き込んだ取り組みをしていきたい
- ・それぞれの研修にいろんな人が参加できるようにしたい

⇒園長先生や行政の協力が大きいのもっと働きかける！

◎まとめ

今年度のテーマにある『心にひびく伝え方』は、昨年度から引き継いだテーマ設定であり、それを意識して取り組んできた。
伝えるには、その子や保護者の事をしっかりと捉えることが大切で、
というふうに伝えると心にひびくのかを考えることができた。
各市町村で親育ち支援についての理解や、共通認識に課題はあるものの、研修を通して他の市町村と情報交換を行い、自分たちの研修内容を発信することで、周りを巻き込んでいける！
そういった親育ち支援研修の取り組みを継続していきたい！